

60th **FISMA** TOKYO Fashion Industry System Machine & Attachment Exhibition
東京ファッション産業機器展

プレスリリース

2026年4月6日(月)

主催：東京都ミシン商工業協同組合

共催：東京都

開催にあたって

本日は、記念すべき 60th FISMA TOKYO のプレス発表会にお忙しい所、多数ご参加を賜り誠にありがとうございます。業界関連紙誌の皆様には東京都ミシン商工業協同組合の活動に深いご理解と力強いご支援をいただき心より厚く御礼申し上げます。

1959 年（昭和 34 年）、戦後高度成長期にあつて経済成長率 11.1%増、皇太子(現上皇)様のご成婚と華やかな印象が残る日本国内で、第 1 回東京ミシンショー、ミシン総合展示会が大手町・都立産業会館にて開催されました。本組合の設立 10 年後のイベントでございました。以来、回を重ね本年 2026 年「60th FISMA TOKYO（第 60 回 東京ファッション産業機器展）」を、11 月 12 日(木曜日)・13 日(金曜日)に開催の運びとなりました。これも関係団体、出展各社様のご協力を頂けなければ成し得られません。そして、何よりも世界の縫製・繊維関連産業従事者の業界にかける熱き情熱と、ミシンを愛する人々の心が、67 年間に亘り 60 回の高峰へと到達させていただけた力だと思います。

その第 60 回記念のテーマは「未来につなぎ、世界に広げる NIPPON モノづくり」であります。前回のサブタイトルを引継ぎ、アパレル、自動車・航空宇宙、インテリア、レジャー・スポーツなど裁断・縫製・プリント加工の全てが集まります。ミシンは衣類を縫製するだけの機械という既成概念の壁を越え、新しい発想や技術をご披露し、働き手不足・人件費の上昇や熟練技能者の高齢化・不足に悩む縫製関連生産工場様に、生産性の高いミシンや熟練オペレータのスキルが再現できるミシンのご紹介、セットアップに掛かる時間の軽減やメンテナンスの効率化など、生産性をどのようにすれば上げることが出来るかのご提案ができればと思っております。

ホームユース・クラフトユースのミシンにおいても、自らモノを作る楽しみへのいざないは忘れてはなりません。未来につなぐ小・中学生へのミシンの普及、クラフト・アトリエでの暮らしの中でのモノづくりの楽しみも十分にご紹介出来る様に、特設コーナーを開設する予定でございます。

60 回といえどもまだ道半ばでございます。この「FISMA TOKYO : 東京ファッション産業機器展」これこそがイノベーションを巻き起こし、私たちが未来につなぎ、世界に広げるべき NIPPON のモノづくりを創造させるカタリストとなる事に間違いはないと確信いたします。

最後に、主催者がどれだけ声高に開催を叫んでも、関係団体、出展各社様のご協力を得られなければ、展示会は成り立ちません。本日お集りの報道各社様には、60th FISMA TOKYO に重ねて絶大なご支援を賜ります様、心中よりお願い申し上げます。

東京都ミシン商工業協同組合
理事長 立川 健夫

開催概要

1. 名称 : 60th FISMA TOKYO (第60回 東京ファッション産業機器展)
2. サブタイトル : アパレル、自動車・航空宇宙、インテリア、レジャー・スポーツなど
裁断・縫製・プリント加工の全てが結集
3. テーマ : 未来につなぎ、世界に広げる NIPPON モノづくり
4. 会期 : 2026年11月12日(木)~13日(金)
開催時間 : 12日(木) 10:00~17:00、13日(金) 10:00~16:00
5. 会場 : 東京ビッグサイト 西3ホール (4,680 m²)
6. 主催 : 東京都ミシン商工業協同組合
7. 共催 : 東京都
8. 後援 : 関東経済産業局、
全国ミシン商工業協同組合連合会、一般社団法人 日本縫製機械工業会、
日本アパレルソーイング工業組合連合会、公益財団法人 日本手芸普及協会、
一般社団法人 日本キルト協会、アパレル業界新聞各社 (順不同)
9. 展示規模 : 100社 250小間 : 目標 (前回実績: 99社 245小間)
10. 来場者数 : 8,000名 : 目標 (前回実績 7,646名)
11. 入場料 : 1,000円 (2日間通用・公式ガイドブック付) ※招待券持参、事前来場登録者は無料
12. 出展対象 :
 - ①縫製機器
工業用ミシン、職業用ミシン、家庭用ミシン、刺繍機 等
 - ②縫製関連機器
ミシン用装置、部品・付属品、ミシン針、糸巻き機、モータ・制御機器、ミシン油・潤滑油 等
 - ③縫製準備工程機器・システム
CAD、CAM、パターンメイキング機器/システム、グレーディング機器/システム、
延反機、縮絨機、検反機、裁断用工具、研磨機、柄合わせ機、ラベル印字機 等

④縫製仕上工程機器・システム

アイロン、バキューム台、プレス機器、クリーニング・染み抜き機器、皮革加工関連機器、転写機、製品検査機・検針器等

⑤生産管理機器・システム

生産管理・工程管理機器／システム、入荷・出荷管理、在庫管理、設備管理等

⑥物流機器・システム

搬送機器／システム、IC タグ、包装・梱包機器、生産・流通システム等

⑦工場設備関連機器

照明機器、電気設備、コンプレッサー、ボイラー、空調設備、集塵機器、オフィス設備等

⑧繊維機器

仮より機、紡績機、準備機、織機、編機等

⑨繊維素材・縫製品副資材

繊維・生地、レース、不織布、糸、テープ・芯地、皮革類、ボタン、ファスナー、マネキン等

⑩染色・加工

機械染色、手加工染色、織物・染色整理、インクジェット・昇華プリンター、仕上げ加工等

⑪情報技術関連サービス

コンサルティング、新聞・雑誌、インターネット関連、支援機関、金融機関、団体等

⑫縫製工場活性化

人手不足対策、自社ブランドの販促、縫製工場・自治体の PR、業務改善・ビジネス創出等

特設ゾーン

⑬様々な分野で活躍する縫製関連機器ゾーン（継続 2 回目）

自動車・航空宇宙産業、靴・鞆・厚物関連、家具・インテリア関連、レジャー・スポーツ関連、工業製品用素材・資機材等

⑭クリエイター支援ゾーン（新設）

小型・小ロット用機材（プリンター、刺しゅう機、カッティングプロッタ等）、OEM 請負、素材・副資材（生地、ネーム、ワッペン、プリント素材、ファスナー等）、EC 構築・販売支援等

⑮DX 推進サポートゾーン

データ収集・分析・管理・活用、クラウドサービス、コンサルティング、AI・IoT、Saas、PLM、顧客管理、リモート支援、作業支援、セキュリティ関連等

⑯RFID 活用ゾーン

ハンディーターミナル、リーダライタ、タグ・ラベル、インレット、プリンター、ソフトウェア、対応機器（POS・EAS 他）、パレット、カゴ車、納品管理システム等

13. 併催企画：主催者展示コーナー（サブタイトルに沿った内容を出展各社と連携して展示）
第 60 回記念展示（これまでの歴史を感じていただける展示内容を検討中）
主催者セミナー（テーマに沿った講演・技術セミナーを実施）
出展者交流パーティ（情報交換による、生産性向上や出展者間の協業等を創出）
出展者セミナー（出展者による専用ルームでの最新製品・技術の発表の場）
モノづくりコーナー（家庭用・職業用ミシンを使用した体験コーナー）
コンシェルジュ（主催者組合員による「よろず相談コーナー」）
等（予定）

ニ ュ ー ス 資 料

1. 『60th FISMA TOKYO』 出展募集開始

この度、節目の開催となる『60th FISMA TOKYO』の出展募集を開始する運びとなりました。本展は、1959年（昭和34年）に第1回を開催以来、アパレル産業の発展、工業用・家庭用ミシンをはじめ、縫製関連機器やシステム、アタッチメント等の普及を目的に、東京で開催される唯一の「ファッション産業機器展」として、長期間にわたり開催してまいりました。また、ファッション産業に留まらず、自動車をはじめとする様々な工業製品の製造にも活用される機器が展示される本展は、最先端技術の公開の場として、各種機器の展示説明の場として、出展者・来場者そして主催者である流通事業者が技術面等の情報を交換し、相互信頼を構築する「出会いの場」として、高く評価いただいております。

2020年から続いたコロナ禍により、従来の開催周期が乱れ、隔年開催となっていましたが今年の「FISMA TOKYO」は昨年から引き続いて開催いたします。多くの展示会が年に1回、毎年開催しています。これは、出展各社の技術革新のスピードへの対応のみならず、ユーザーが機器の導入検討に加え、セミナー聴講やメーカーとの交流による情報収集を重視し求めているからです。FISMA TOKYOにおいても、直ぐには購入しないが最新の情報は欠かさずキャッチして、必要なタイミングで導入するとの理由から毎回来場しているユーザーが多数いらっしゃいます。

一方、出展メーカー・来場ユーザー双方にとって今も厳しい状況が続いていると感じています。主催者としては、アパレル製品の輸出への支援やアパレル以外の分野へ向けた縫製関連機器の販路拡大、小規模で活躍するクリエイターなどの新たな層にも参加いただける展示会に変革する準備をしております。厳しい時だからこそ、既存ユーザーへの生産性向上や業務効率化のご提案を行い、一方で、新たなユーザーを開拓して自社製品の販売を増やす。つまり、ユーザー各社と出展各社が今よりも良くなるために開催する「60th FISMA TOKYO」に、多数のご出展をいただきますよう、本日お集りの記者の皆さまには、広くご案内いただきたくお願い申し上げます。

2. 様々な分野（ノンアパレル）の拡大へパワーアップ

前回から、FISMA TOKYOの展示内容に『様々な分野で活躍する縫製関連機器』を新たに加え、サブタイトルの設定や、会場入口での企画展示など、前面に打ち出して開催しました。その結果、来場者全体の10%弱（8.7%）が、この分野からご来場いただけました。しかし、単純に10%弱が増えた訳ではなく、従来の来場者が新たに設けた来場者種別を選んだケースもあると思っています。

そこで今回は、様々な分野のユーザーに向けた来場誘致施策を強化します。メールマガジンやSNSでの発信は元より、出展各社と連携し各社がターゲットとしている分野のポータルサイトや媒体への告知を増やして参ります。

展示内容の充実と告知活動が連動しなければ、大きな効果は得られないので、記者の皆さまにも、横の繋がりで『様々な分野』のポータルサイトやユーザーが活用する情報源などを、事務局にお寄せいただきたくお願い申し上げます。

3. 個人・小規模クリエイター向け出展および来場の充実

現在、個人や小規模なクリエイターが、ハンドメイド作品の販売サイトやイベント、フリマサイトなどで活躍しています。多くの方が趣味や前職からの流れで制作や販売を始め、まだまだ設備不足の中で頑張っていると聞きます。このようなクリエイターの方々の生産性向上への支援に力を入れて参ります。東京にはクリエイターが資材を求める街（徒蔵エリア、日暮里繊維街、浅草橋など）が多数存在するため、これらの地域との連携や、織ネーム、ワッペンなどの資材、刺しゅうなどのOEMも展開する計画です。また、ハンドメイド作家によるワークショップやセミナーも実施し、多くのクリエイターの来場を促進します。

機材としては、工業用から家庭用ミシン、刺しゅう機、プリンター、カッティングプロッタなど、クリエイターにとって生産性向上に資する製品を多数出展いただきたいと思います。

4. サブタイトル・テーマに沿った主催者企画（展示・セミナー等）

前回、サブタイトルに対応した展示コーナーを会場入口に設置しました。基本的に主催者(組合員)がユーザーなどの取引先に展示協力をお願いして実現しましたが、協力各社のPRに繋がる要素は入れずに、縫製関連機器が様々な分野で活躍している事の発信に専念しました。開催中から出展者を含む複数の方に、事前に相談してくれていたら協力できたと伺い、今回は出展各社にも展示製品のご協力をいただき、加工機器等のPRに活用いただける展示コーナーといたします。

来場誘致に向けたPRターゲットの設定や魅力ある展示への協力など、主催者と出展各社が緊密に連携し、全体の盛り上がり为一体となって醸成する、そのような展示会にしたいと考えています。

セミナーについては、以前より行っている「技術の向上」、「業務改善」などに加え、設備機器の導入に役立つ補助金・助成金の活用方法や、海外進出に繋がる内容を実施する予定です。

5. 第60回記念パーティの実施

コロナ禍により実施を取り止めていた「出展者交流パーティ」を復活します。会期初日(11/12)の夜、主催者・出展者・関連団体の皆さまが一堂に会し、業界発展に向けた情報交換や交流により、協業のアイデア、新規分野の開拓など、来場者への対応が最優先される開場時間中では成し得ない相互連携を創出する時間と場所を提供いたします。

ニュース資料は以上となります。

業界発展のため、ぜひとも貴紙誌にご掲載いただき、広範な告知にご協力を賜りたくお願い申し上げます。ご掲載いただきました際は、掲載紙誌を下記の事務局までご送付いただければ幸いです。

公式 X(旧ツイッター)に加え、今回からインスタグラムも開設いたしました。様々な形態で情報をより多くの方々にお届けしてまいります。それぞれをフォローいただければ幸いです。

【 お問い合わせ・掲載紙誌送付先 】

FISMA TOKYO 事務局 担当：根岸

〒110-0016 東京都台東区台東 1-21-4 東京ミシン会館 5階

TEL : 03-6803-0272 FAX : 03-3835-1025 E-mail : jimukyoku@fisma.tokyo